

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	農業委員会事務局		■担当係	総務係
■評価事業名称	農業委員活動交付金			
■事業開始年度	平成13年度			
■評価事業コード	520100 - 006	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上		
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	農業委員会等に関する法律			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	平成28年度の農業委員会法等の改正により、新たに任命した農地利用最適化推進委員と農業委員とが連携し、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の支援を推進する。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	農業委員活動交付金	委員会	農業委員会活動交付金交付金…1,317,000円 総会…14回①研修活動…9回②自主活動…9回③役員会の開催…14回④農業委員会だより編集委員会…4回⑤農作業労賃標準額設定検討委員会…1回	交付金…1,228,000円 総会…13回①研修活動…7回②自主活動…10回③役員会の開催…13回④農業委員会だより編集委員会…5回

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	1,317	856	1,317	1,228	
人件費	2,681	2,553	1,679	2,229	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,998	3,409	2,996	3,457	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	①総会②農地パトロール③研修活動など	64回	46回	67回	48回	・総会13回、研修活動など48回

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

任期の最終年となり、研修は減ったものの、自主活動では、従来の事業に加えて新規事業に取り組むなど、多くの事業を実施することができた。また、遊休農地の約6割を解消できた。

### 問題点・課題等

今後、農地利用の最適化の取組に更に注力していかねばならないため、委員の負担が大きくなることが懸念される。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

農業委員会の活動(研修や自主活動等)の支柱となる事業であるため、継続が必要。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了